

# 発行目的

- 「5か年計画」では、2040年を見据えた埼玉県の目指す「3つの将来像」を掲げ、将来像の実現に向けた基本姿勢として、「**埼玉版SDGsの推進**」を計画の全施策を貫く、横断的な視点として位置付け
- 3つの将来像の実現に向けた施策・取組を着実に推進するため、**埼玉県ESG債**によりその財源を確保

## 埼玉県ESG債

環境(E: Environment)、社会(S: Social)、ガバナンス(G: Governance)

### サステナビリティボンド

**グリーンプロジェクト**

(環境問題の解決)

**ソーシャルプロジェクト**

(社会的課題の解決)

【サステナビリティボンド・ガイドライン 2021(国際資本市場協会※)による定義】

サステナビリティボンドとは、調達資金の全額がグリーンプロジェクト及びソーシャルプロジェクトに充てられる債券である。

※国際資本市場協会( ICMA ) : 世界の金融機関等が加盟する国際機関

# 「安心・安全の追究」につながる主な充当事業

グリーンプロジェクト

災害・危機に強い埼玉の構築

治水・治山対策の推進

## ◆ 埼玉版流域治水対策の推進

河道や砂防関係施設の整備等を集中的に行い「防災力」を高めるとともに、水害リスク情報の充実など「減災力」も高める施策を進める「流域治水」を、あらゆる関係者との協働により推進する。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河川における河道掘削や調節池の整備、流域における雨水貯留浸透施設の設置
- 堤防構造の強化対策の推進



河道掘削



調節池整備

「いのちとくらしを守る土砂災害対策」の推進

- 砂防堰堤や法枠工などの砂防関係施設の整備



砂防堰堤

# 「安心・安全の追究」につながる主な充当事業

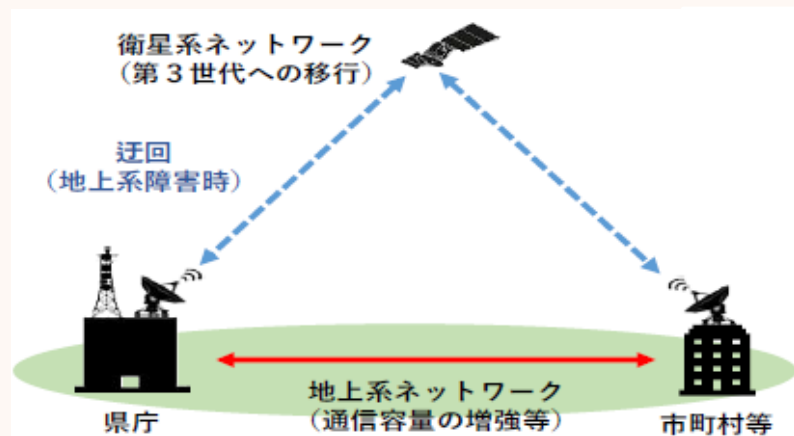
## ソーシャルプロジェクト

## 災害・危機に強い埼玉の構築

### 危機管理・防災体制の再構築

#### ◆ 防災行政無線の機能強化

大規模災害等における情報収集・伝達手段の強化を目的とした衛星系防災行政無線の再整備及び地上系防災行政無線の改修を実施する。



### 大地震に備えたまちづくり

#### ◆ 橋りょうの耐震補強・更新

大規模地震の発生に備え、橋りょうの耐震補強や計画的な修繕を行う。



耐震補強



橋りょう修繕

#### ◆ 無電柱化の推進

災害時の緊急車両等の通行空間を確保するため、無電柱化を推進する。



台風第21号による電柱倒壊

無電柱化

# 「誰もが輝く社会」につながる主な充当事業

## ソーシャルプロジェクト

### 子育てに希望が持てる社会の実現

#### 児童虐待防止・社会的養育の充実

##### ◆児童相談所の整備・機能強化

熊谷児童相談所(一時保護所併設)を整備(令和5年度開所予定)する。

また、朝霞市内に開所する県設置8番目の児童相談所(一時保護所併設)の新設整備(令和7年度開所予定)などを行う。



※熊谷児童相談所イメージ

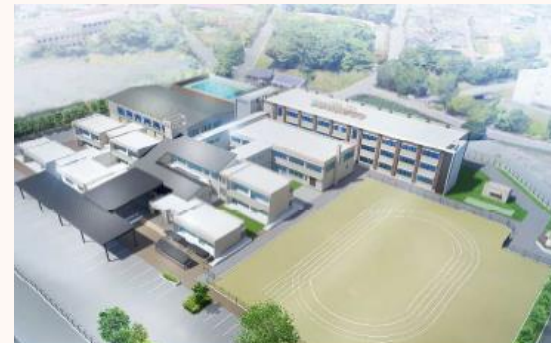
### 未来を創る子供たちの育成

#### 質の高い学校教育の推進

##### ◆特別支援学校の整備

特別支援学校における児童生徒の増加に対応するため、新たな特別支援学校の設置を行うとともに、既存校における教育環境を整備する。

- ・ 岩槻はるかぜ特別支援学校の設置
- ・ 高校内分校の設置 6校
- ・ 校舎の増築 3校



※岩槻はるかぜ特別支援学校イメージ

# 「持続可能な成長」につながる主な充当事業

## グリーンプロジェクト

### 豊かな自然と共生する社会の実現

#### みどりの保全と創出

##### ◆身近な緑の保全

市町村との協働により「ふるさとの緑の景観地」や「県立自然公園」などの緑地を公有地化する。



##### ◆森林の循環利用促進

再造林、搬出間伐等の面積を拡充し「伐って・使って、植えて、育てる」森林の循環利用を促進する。



コンテナ苗の植栽



搬出間伐

### 儲かる農林業の推進

#### 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大

##### ◆森林・林業基盤の整備

森林管理道を整備することにより、適切な森林整備の推進と林業経営の効率化を図る。  
また、山村地域の生活道や災害時の迂回路としての機能を確保する。



森林管理道の開設



木材の搬出

# 発行概要(予定)

愛称

埼玉県ESG債

年限

10年債(満期一括償)

発行額

150億円

発行月

令和4年9月

- 都道府県初のサステナビリティボンドの発行